

今月の



隣に伝えたい 新たな言葉と概念

【エピカーブ】

英 epidemic curve

和 流行曲線

エピカーブは、ある感染症に着目して新規感染症発症者数を発症日ごとに集計し、横軸に発症日を縦軸に人数をとりグラフとして表したものである。視覚的に分かりやすいため棒グラフとして変化を見ることが多いが、本来点として記録される数を経時的に結んでいくと曲線になることから、「流行曲線 (epidemic curve)」と呼称されている。

この変化（曲線，カーブ）は一般的に山形のカーブを描く。右肩上がりの変化は感染症の拡大を示し、右肩下がり収束に向かっていることを示す。曲線の変化速度で流行の拡大度合いがわかり、平坦になってからの下り始めるまでの時間で流行の持続を示すなど、感染症の社会的動態を分析するのに有用である。

参考：感染症の数理モデル 稲葉寿 2020年 培風館

(国立病院機構北海道がんセンター 加藤 秀則)
本誌521 pに記載